

幸まちづくり

お知らせ

敬老の日になんて長寿を祝う

幸まちづくり協議会絆部会事業として『敬老祝い品(洗剤)』をお贈りします。

九月十九日(敬老の日)から左記に該当するご家庭にお届けします。

平成二十八年九月一日現在

幸地区にお住まいの方

※七十歳以上独り住まいの方

(昭和二十一年九月十九日以前生まれ)

※八十歳以上高齢者だけでお住まいの方

(昭和十一年九月十九日以前生まれ)



絆部会

第1回「幸にい」サロン」開催のお知らせ

八月二十一日(日)午後二時~四時

幸公民館にて実施します。

詳しくはチラシを回覧致します。

お申込みをお待ちしております。



『お茶の講座第二弾』

住部会

十月四日(火)実施

「福祉施設向野園」飯南・飯高地区番茶刈り「見学会

詳しくは来月号「幸まちづくり」

広報でお知らせします。

ご参加ください。



七夕

伝部会

日本の「たなばた」は、元来、中国での行事であった七夕が奈良時代に伝わり、元からあった日本の棚機津女(たなばたつめ)の伝説と合わさって生まれた。

「棚機津女」とは織物を作る手動の機械を扱う女性をさし、「古事記」になんて天から降りてくる水神に捧げるための神聖な布を織(けが)れを知らない女性が「棚造りの小屋」にこもって俗世から離れて織る、という習慣がありました。



現代の私たちに、この「棚造りの小屋」は馴染みのない物の様に感じますが、家の高い所に置いて神様を祀っている「神棚」と同じような物です。

この様な習慣と「星伝説」に登場する「織女(織姫)」が似ていたので、日本では中国から伝わった行事が広く受け入れられたといわれています。

また、「七夕」を「たなばた」と読むのは、この行事の際に特別な「棚」を作る他に「棚機津女(たなばたつめ)」の習慣があったからだと考えられています。



裏面もご覧ください!

★お知らせ★

- *広報委員会 8月10日(水) 13:30
- *交通対策会議 8月17日(水) 19:00
- *「伝」部会 8月25日(木) 13:30
- *運営委員会 8月26日(金) 13:30

今年も来ました暑い夏
自分のリズムより、少し
早めの水分補給で酷暑を
乗りきろう!

編集後記



「そろばん」

アバカス スクール
abacus school めぐみ
大黒田町西林 1810-1 TEL
松阪工高グラウンド裏手 080-2610-3749
☆日本珠算連盟松阪支部会員
☆社団法人全国珠算学校連盟会員 指導 朝田 めぐみ

医療法人スワン

カイバナ眼科クリニック

先進医療認定施設
日帰り白内障手術

通院でお困りの方お電話下さい



無料送迎
いたします!

目のこと何でもご相談ください
松阪市カイバナ町1638エルム通り

☎0598-21-5222

活部会が放つ 秋の新企画

第1回 三世代交流サロンにご参加を

常に願いは新しい

あなたの憧れと

あなたの望みを

幸の三世代交流サロンで交歓しませんか

世代を超える交流から
新しい世界 創造の世界が
様々な見方 考え方が

サロンが貴方と あなたの家族の未来を考える 素晴らしい時になることを！
秋の一日 是非ご参加ください。お待ちしております。

サロン開会卓話 ☆ 家族という病 ☆ 水口義朗

そこから見えるもの・・・

昭和9年 生まれ 昭和34年 早稲田大学文学部大学院卒
昭和34年 中央公論社入社『週刊コウロン』編集部配属 同47年 中央公論社編集部次長就任
昭和53年 『婦人公論』編集部次長就任 同58年『別冊・婦人公論』編集部長就任
昭和61年以降 平成17年3月までワイドショーのコメンテーター等で活躍
著作〈隣にいる女〉〈解体珍書〉〈記憶に残る作家25人の素顔〉
〈週刊コウロン波乱短命顛末記・平成28年3月刊〉等

★ とき 9月25日(日) 10時～16時

★ 会場 松阪市 市民活動センター
(カリヨンプラザ3階) 日野町交差点傍

★ 会費 一人 1500円

★ 定員 50名 先着順
定員に満たない時は 他地域の方にご案内いたします。

※ 申し込み 8月15日まで
下記の申込用紙に会費を添えて幸公民館へお届けください。



幸まちづくり協議会
活部会
(幸公民館内)
〒515-0073
松阪市殿町1198-2
☎0598-23-9549



三世代交流サロン 申込書

お名前			
性別 年齢	(男・女) (歳)	(男・女) (歳)	(男・女) (歳)
住所			
電話番号			